

在学生の声 2026

須田研究室はとても自由な研究室です。時間的な制約がほとんどなく部活やサークルの活動も充実させることができます。メンバーは個性的で変わっている人もいますがみんな優しくとても居心地のよい研究室です。また、知識と経験が豊富な先生方が多く在籍しており、様々な実験装置を使うこともできるため研究面においても充実した生活を送れます。

体育会系の B4

僕は須田研究室での会話のハードルの低さが好きです。
研究に関係あることでも、全く関係ない私生活の話でも話しやすく、盛り上がってくれます。
だからと言って常におしゃべりしてゐるわけではなく切り替えのスイッチをみんなが持つてゐるのも魅力です。
研究だと気張らずに新たに面白い友達や先輩を作る感覚でぜひ須田研に！

娯楽にお金を使うのが好きな B4

須田研は自由な雰囲気の研究室です。
コアタイムはほとんどなく、自分のライフスタイルに合わせて自分のペースで研究を進めることができます。
わからないことがあれば、気軽に先輩方や先生方に質問でき、優しく丁寧に教えてくれます。
また、学生同士の仲が良く、研究室もきれいで、とても居心地が良い環境です。
研究室生活を自由に楽しく過ごしたいなら、ぜひ須田研を検討してみてください！

一人暮らしカウントダウン中の B4

須田研究室はとても雰囲気が良いです。昼ごはんの時間では、先輩後輩関係なく楽しくしゃべりながら過ごしています。
また、研究室内でジムがブームになりつつあり、健康を維持しながら研究に励むことができます。
研究に関しても先生方のサポートがあり、実験設備も充実しているので半導体に興味がある人にはとてもオススメな研究室です！

筋トレしがちな B4

須田研は、穏やかで活気のある研究室です。
学年関係なく研究のことも雑談も話しやすい雰囲気で、個性豊かなメンバーが集まって一緒に食べるお昼が毎日の楽しみです。
真面目で優しい先輩方や先生方からのサポートが手厚く、研究設備も充実しているので、半導体を研究する最強の環境が整っていると思います。
半導体に興味がある方はぜひ須田研へ！

辛い食べ物を克服したい M1

先輩も先生方も気さくに話しかけてくれたり、些細な疑問でも真摯に対応してくださる素敵なお方々ばかりです！
コアタイムも特になく、自分のペースでのびのびと研究したい人にオススメしたいです！

睡眠過多の M1

学部時代の志望は情報系から電気系と移り、3年の研究室選びでは一番行かないと思っていた電子系の当研究室を選びました。
電子系は理論が難しそうというイメージで避けていましたが、半導体のおもしろさや研究室の雰囲気に惹かれました。

須田研究室は学生同士のコミュニケーションが活発で、研究でわからないことがあれば先輩に遠慮なく相談でき、趣味やプライベートの話をして気分転換もできます。

先生方は、研究についてはもちろん、社会に出た後も役に立つテクニック、ノウハウを教えてくれる、とても学生想いな方々です。

少しでも、「須田研、いいかも」と思った方は、ぜひ個別の見学に！

飲みすぎ注意の M1

3年生の皆さん、研究室選びで何を重視しますか？

研究内容や研究室の雰囲気、先輩の就職先などなど様々な観点から研究室を吟味しているかと思います。

私は研究室の雰囲気を一番重要視して、須田研究室に決めました。

須田研のメンバーは先生、学生問わずとても優しく、人間関係で困ったことがないので、

人間関係や雰囲気を重視して研究室を選ぼうとしている方には、須田研究室を強くおすすめします。

一人で婚活イベントに参加することになった M1

研究室選びでは研究内容も重要ですが、環境も同じくらい大切だと思います。

先生方はもちろん、学生も優しいので気軽に質問をすることができます。

博士課程の学生が沢山いるので M2 になっても先輩を頼れるのが個人的に好きなところです。

立地だけはどうにもなりませんが、それを上回るメリットが沢山あるのでおすすめです。

引っ越し準備が不安な M2

自分は、研究室配属の時期は正直かなり迷いましたが、半導体分野への興味に加えて、須田先生の講義が分かりやすく面白かったことが決め手になり、須田研究室を志望しました。

実際に配属されてみると研究室の雰囲気が非常に良く、先生にも先輩にも相談しやすい環境だと感じています。

また、研究設備が非常によく整っており、実験・解析を進める上で困ることは殆どありません。

駅から少し遠いことが少し難点ですが、通っているうちにすぐ慣れたので、そこまで心配する必要はないと思います。

条件が多すぎてグラフの色がキモい M2

GaN ってすごい半導体材料らしい、C-TECs きれいで快適そう

そんなふんわりとした理由でこの研究室を選びました。

この研究室で 3 年間過ごしてきて、

自分のペースで研究を進めることができる点が、とても気に入っています。

最近国宝を観た M2

初カキコ…ども…俺みたいな M2 でコピペ改変してる人、他に、いますかっていねーか、はは。

研究室の雰囲気は、真面目に研究について議論したり、一緒に昼ご飯を食べたり、雑談で盛り上がったり、ま、それが日常ですわな。

かたや俺は実験室で測定結果を見て、呟くんすわ。「電流が全然流れないねえ」 高抵抗？ それ讃め言葉ね。

研究室の好きなところ：相談しやすい雰囲気

尊敬する人間：研究室の先生・先輩・関係者の方々

なんつっている間に日没すよ（笑）あ～あ、研究生活のつらいとこね、これ。

こんな人間でも受け入れてくれる優しい人が多い研究室です。人間関係に不安を感じている人は安心して選んでください。

B3 のときは「KICK BACK」を鬼りピしていた M2

自分が須田研究室を選んだ理由を振り返って。

講義で半導体を学んでいく中で半導体が世の中に大きく影響を与えていたことや技術力の高さを感じ、

自分も半導体の研究をやってみたいと思い始めました。

半導体の研究室が色々ある中で須田先生の固体電子工学の講義がすごくわかりやすく面白かったため、須田研究室に決めました。

須田研に入って4年目ですが、須田研に入ることができてよかったです。

自転車のブレーキから異音がし始め懲く D1

研究室に配属されて5年が経とうとしています。

博士への進学を決めて以来、遙か遠く未来のことだと思っていた就職活動を今しています。

あつという間の充実した5年間でした。

たくさんの人と関わっていく中で、たくさんのこと学び、できることも増えてきましたと信じています。

また、大学には8年いたことになります。

非常に多くのことを経験できた8年だったと思います。

(この間に一度くらいドラゴンズがリーグ優勝、延いては日本一になってくれても良いと思っていましたがそれはまだ先のようです。

でもきっと2026年からのホームランゾーン増設によっていい影響が生まれ、強いチームになってくれることと信じています。)

皆さんの大学・研究室生活もきっと実り多いものとなることを願っています。

ノスリバ(D2)

「良い研究室」の定義はいろいろあると思いますが、

博士課程に進みたくなる研究室は「良い研究室」と言えるのではないかでしょうか。

私がB3のときは博士を取るなんて思ってもいませんでしたが、

気づいたら博士課程を卒業しそうです。

そんな不思議な魅力がここにはあります。

研究室見学の日は誕生日の D3

須田研究室は、研究テーマの幅が広く、各自のペースに合わせて研究を進められる点が魅力です。

現時点では、やりたいことがばんやりしている方々も多いかもしれません、幅広い研究に触れる中で興味のあるテーマを見つかるかもしれません。

また、面倒見のよいやさしい先輩が多いので、悩んでいる人がいたら須田研をお勧めします。

金シャチマネーを使いきれそうにない D3

須田研究室で、

多様性に富む方々が参加していらっしゃる場面を真横から観ています。

もう、流石としかいいようがありません。

recent favorites→Feeding Creativity and dir en grey